

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスリアン府中緑町			公表日		2025年 12月 25日		
	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	0		全体のスペースは適切だと思うが、部屋を仕切る環境が整っていない。活動内容によって部屋を分けて過ごしたい時に仕切れるように改善が必要。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	1		法令上の基準は満たしているが、活動や子どもの状況に応じて適切な職員数を配置していくことが安全に過ごすためには必要。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	1		活動内容に応じてパーティション等で部屋を仕切り、子どもが活動に集中できるように環境を整えるように努めていく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	0		今後、より全職員が関わることが出来るような仕組みを考えていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	1		職員全体で保護者のニーズを周知・把握して改善できるように努めていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	0		第三者評価の実施は未定。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3	0	ジョブモデルの研修を定期的に行っている。	今後も社内研修や社外研修に積極的に参加していく。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	0	ガイドラインに基づき、支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	1				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	1				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	3	0				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	0	毎月、打ち合わせを行い、支援プログラムに沿った活動をプログラムを作成している。	今後も職員間で意見を出し合いながらプログラム立案が出来るようにしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	3	0	継続が望ましい活動は毎月取り入れているが、子どもたちが楽しめるようにプログラム作成をしている。	今後も固定化するプログラムとそうでないプログラムをバランスよく取り入れるようにしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	0	毎日のミーティングでその日の注意事項や子どもへの対応を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	2		支援終了後にその日の振り返りを行う時間は持っていないので、気づいた点等を共有する仕組み作りに努めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2	0	平日は主に自立支援と日常生活の充実及び創作活動を組み合わせて活動を行い、休日や長期休み時には余暇の提供や地域のイベントにも積極的に参加している。	今後もより良い支援が行えるように努めている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	2	0	出来る限り、子ども自身が考えて行動できるようにしている。選択に困っている時には複数の選択肢を提示してその中から子ども自身がそうしたいのかを考えて決められるようにしている。	今後も子どもが考えて行動できる力を身につけていける支援を行っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	0	主に児童発達支援管理責任者が参画している。	会議の内容は事業所内で共有をしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	5	0	必要に応じて関係機関と連携できる体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	0	下校時に学校からの申し送りを受けている。下校時間や学校の行事等は保護者と情報共有している。	情報の内容は事業所内で共有していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	0	地域のイベントには参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	0	機会があれば積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2	0	その日の様子は送迎時や記録等で報告し、ご家庭の様子と合わせて共通理解を持つようにしている。	引き続き保護者との連絡を密にとり、こどもの状況の共通理解を持てるようにしていく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	0			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	1	契約時や変更時等に丁寧に説明するようにしている。	今後も丁寧な説明が出来るようにしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2	0	作成時には面談を行い、保護者の要望や意見等を聞いている。	今後も丁寧な対応が出来るようにしていく。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	0	計画を作成した時はその都度保護者に確認し、同意を得るようにしている。	今後も丁寧な対応が出来るようにしていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	3	0	家族からの要望があった時には必要な助言を行うようにしている。	今後も丁寧な対応が出来るようにしていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	1	父母の会や保護者同士の交流の場を設けてはいないが、家族参加のイベントを実施している。	保護者からの希望があった時には実施する方向で検討している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	0	相談窓口を設置し、事業所内に掲示している。また、契約時にも説明を行っている。	迅速に対応できるように体制を整えていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	0	毎月発行している活動予定表やSNSで発信している。	今後も積極的に発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0	個人情報の取り扱いには全職員が留意するように徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0	言葉やイラスト、ジェスチャー等、子どもが分かりやすい方法を用いるようにしている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	0			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	0	各種マニュアルは事業所内に備え付けていて、常時確認することが出来るようになっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	0	定期的に避難訓練等は行っている。	今後も非常事態に備えた訓練を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2	1	保護者から情報を得て、職員間で確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	0	アレルギー対応は保護者から情報を得て、対応している。	今後も対応には細心の注意を払っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3	0		今後も安全計画を周知し、安全管理に留意して支援を行っていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	0		今後も家族への周知の取り組みを行い、安全確保に努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	0	ヒヤリハット報告書で情報を共有し、再発防止に努めている。	今後も安全に留意して支援を行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2	0	毎年、虐待防止研修を実施している。	引き続き定期的に研修を実施し、虐待防止への意識を高めていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3	0	身体拘束が必要な状況が想定される場合は事前に保護者と対応を相談し、個別支援計画に記載している。	今後も必要な場合は十分に検討し、丁寧な説明を行い、身体拘束の適正化に努めていく。	